

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

2026（令和8）年
5月末発行

● 新任の公設試所長をご紹介します

● 滋賀県南部産業技術共創センター



今年4月に、所長に就任しました佐々木宗生です。当センターは、今年4月から、滋賀県南部産業技術共創センターに改称しました。イノベーション創出の拠点として、皆様と共に地域産業の強化、新たな産業創出に努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



● 滋賀県北部産業技術共創センター



所長の山下です。北部産業技術共創センターは、米原駅東口の新庁舎へ移転します。企業のチャレンジやトライアル、地場産業のチェンジを支援するとともに、「出会う場」「試す場」「見せる場」を通じた共創を推進してまいります。より一層のご協力をご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



● 京都府中小企業技術センター



今年5月に、所長に就任しました森迫 清貴です。職員一同、地域の中小企業等とともに、“わくわくする”未来に向けた技術イノベーションに挑戦してまいります。



● 大阪産業技術研究所



令和8年1月1日付で、大阪産業技術研究所理事長に就任しました湯元昇です。関西広域産業共創プラットフォーム事業の連携コーディネータとしての経験を活かし、企業支援と共創の推進に努めてまいります。



● 和歌山県工業技術センター



この4月に、所長に就任しました三宅です。各公設試だけでは対応が難しい課題について、関西広域産業共創プラットフォームの皆さまと協力しつつ解決していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



● 徳島県立工業技術センター



今年4月に、所長に就任しました松本です。地域の中小企業が抱える様々な技術的課題を解決すべく、プラットフォームの皆様と連携させていただきながら、より効果的な技術支援に取り組んで参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



～事務局便り～

5月は旧暦名臈月（さつき）ですが、これは「早苗月」に由来するとの説があります。田に稲を植える月という意味ですが、確かに現代でも一斉に田植えが行われますので、日常の景色をよく表現していますね。それまで枯れていた田圃が水田となり、至る所で瑞々しさが蘇り、日本の自然の豊かさを実感します。このような「里山」の自然と、それが生み出すおいしいお米を大切にしたいものです。

さて、先月号の当PFの事務局紹介に続き、今月号では公設試にて新たに理事長や所長にご就任された方々を紹介させていただいております。当PFに寄せられる技術相談を見ますと、件数は概ね例年通りですが難易度が高くなっています。中には、外部連携機関や専門業者レベルまで手を広げる事例もあります。この場合、時間がかかりますので必ずしもご相談者様にご満足いただけないというジレンマにも直面します。

いずれにしても、事業開始当初の「小さな相談、大きなチャンス」という理念に立ち返り、引き続き皆様のご支援、ご指導を引き続き賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

公設試発！News

モノづくりを次世代へ！「生産性向上支援センター」が貴社の課題解決を伴走サポート

よろず支援拠点 生産性向上支援センター

「残業が減らず、人が定着しない」「本当は見直したいが、手作業が当たり前になっている」「忙しさに追われ、改善に手が付けられない」……現場のそんなお悩みはありませんか？

各都道府県のよろず支援拠点に設置された「生産性向上支援センター」では、知識・経験豊富なプロのサポーターが、貴社の現場へ無料で伺い、解決まで徹底的に伴走します。

＜このような支援が可能です＞

- ・現場改善：5Sの徹底、ムリムラムダの削減
- ・業務の見える化：作業プロセスの見直し、標準化
- ・デジタル・自動化：IoT、AIの活用、ロボット導入による自動化の検討

「今の現場に合った」次の一步を、私たちと一緒に考えてみませんか？



※詳しくは以下をご覧ください。(経産省)
<https://www.meti.go.jp/press/2026/04/20260401001/20260401001.html>



「デジタル造形システム」を整備しました

兵庫県立工業技術センター

デジタル造形システムは3次元形状スキャナー(ATOS Q 8M, ZEISS社)とPolyJet式3D樹脂プリンタ(J55Pro, Sratasy社)で構成されています。

3次元形状スキャナーは、高精度ブルーライト技術を用いた光学式で、微細形状から複雑部品まで高精度に形状データ取得が可能です。また、取得データはDesign Xソフトウェアによって滑らかなサーフェスやソリッドモデルへ変換でき、既存部品のCAD化、形状補正、リバースエンジニアリングに活用可能です。

3D樹脂プリンタは、回転式ビルドトレイで造形ムラを抑え、薄肉部や微細形状も再現し易く、ショア硬度を制御できるゴムライク樹脂を使用できるなど、デジタルマテリアルに対応しています。



「デジタル造形システム」紹介セミナーの開催

日時：令和8年7月23日(木) 13時～
場所：兵庫県立工業技術センター



※装置概要の説明、活用事例の紹介、装置見学会を予定

※詳しくは以下をご覧ください。
<https://www.hyogo-kq.jp/>

「においかぎ付き熱分解GC/MSシステム」を導入しました

徳島県立工業技術センター

微量有機化合物の定性・定量分析を行う装置です。熱分解装置を付属しているため、サンプルが固体でも分析可能です。また、においかぎ装置を使用することで、機器分析と官能評価を組み合わせることができます。

詳細について、ご興味のある方は、お問い合わせください。



※令和7年度 JKA機械設備拡充事業で導入。

※詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.itc.pref.tokushima.jp/facilities/introduced-equipment/1510.html>

6/12開催 うめきたサイト

加工技術セミナー

大阪産業技術研究所



大阪産業技術研究所(ORIST:オリスト)和泉センター加工成形研究部が保有する様々な加工・評価・解析技術を分かりやすく紹介します。製品開発への活用という観点から、

●どのような課題を相談できるのか

●どのように活用できるのか

を具体的に解説します。また、各加工分野におけるORISTの研究シーズも紹介します。設計・加工・評価でお困りの方に、課題解決のヒントと相談先が見つかるセミナーです。

■日時：令和8年6月12日(金) 13:30～16:30

■場所：グラングリーン大阪北館
JAM BASE4階 JAM-OFFICE4-A
「産総研・関経連うめきたサイト」

■定員：40名(先着順)

※以下からお申込みください(残席わずか！)

<https://zfrmz.com/87WOebR4fbYuxmyb25xF>

